

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月7日

【四半期会計期間】 第72期第1四半期(自2019年4月1日至2019年6月30日)

【会社名】 綜研化学株式会社

【英訳名】 Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 逢坂 紀行

【本店の所在の場所】 東京都豊島区高田三丁目29番5号

【電話番号】 (03)3983 - 3171(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 執行役員 管理本部長 滝澤 清隆

【最寄りの連絡場所】 東京都豊島区高田三丁目29番5号

【電話番号】 (03)3983 - 3171(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 執行役員 管理本部長 滝澤 清隆

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第71期 第1四半期 連結累計期間	第72期 第1四半期 連結累計期間	第71期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	7,401,309	6,736,431	31,295,945
経常利益 (千円)	564,632	313,291	2,037,248
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	439,510	252,696	1,462,915
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	213,245	380,657	735,483
純資産額 (千円)	22,027,902	22,475,062	22,550,138
総資産額 (千円)	35,425,107	34,949,987	36,608,674
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	53.04	30.50	176.55
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.2	64.3	61.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、米中貿易摩擦が深刻化・長期化するなかで中国の景気減速傾向が顕著となり、世界経済への影響が懸念され、国内においても輸出や生産面での停滞感が強まるなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、アジア地域での事業規模拡大と収益性向上、革新的な材料・技術開発による事業領域の拡大を果たすために、中国市場での大型液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大に応じた生産能力増強や市場・顧客ニーズを先取りした製品開発・提案力の強化による既存事業の収益基盤の強化、高付加価値製品領域へのリソースシフトやグループ全体での販売・開発・生産体制の最適化等による事業構造改革の推進、技術革新が進む自動車・ヘルスケア分野等での他社協業など自前主義からの脱却による新たな事業領域の創出に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、中国景気の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受けてケミカルズの販売が減少したことなどにより、売上高は67億36百万円（前年同期比9.0%減）となりました。利益面では、今後の事業領域拡大に向けた費用増や人民元安に伴う為替差損の計上などにより、経常利益は3億13百万円（前年同期比44.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億52百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

<ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は61億16百万円（前年同期比8.2%減）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、中国市場における大型液晶ディスプレイ関連用途向けの販売数量が増加したものの、その他電子材料用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は39億30百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散フィルム用途向けは堅調に推移したものの、電子部品関連用途向けの販売数量が減少したことなどにより、売上高は6億15百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場における電子材料用途向けの販売数量が減少し、売上高は5億41百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

加工製品は、中国市場における電子情報機器用途向けなどの機能性粘着テープの販売数量が減少したことなどにより、売上高は10億28百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

<装置システム>

装置システムについては、国内設備投資が堅調に推移するなか、前期並みの受注は確保したものの、設備関連の工事完成高が前年同期を下回り、売上高は6億20百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

財政状態

当第1四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて16億58百万円減少し、349億49百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ18億19百万円減少し、197億24百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ1億60百万円増加し、152億25百万円となりました。

一方、負債については支払手形及び買掛金、賞与引当金が減少したことなどにより、前期末に比べ15億83百万円減少し、124億74百万円となりました。

当期末における純資産は、為替換算調整勘定が増加したものの、利益剰余金が減少したことなどにより、前期末に比べ75百万円減少し、224億75百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末61.6%から2.7ポイント増加し64.3%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は3億55百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

当四半期報告書提出日現在において、新たに確定した主要な設備の新設の計画は次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		着手年月	完了予定 年月
				総額	既支払額		
綜研高新材料 (南京) 有限公司	中国 江蘇省南京市	ケミカルズ	粘着剤生産設備	125百万円	1百万円	2018年11月	2021年3月
綜研化学 株式会社	浜岡事業所 静岡県御前崎市	ケミカルズ	粘着剤製造設備	2,080百万円	514百万円	2019年1月	2019年12月
綜研化学 株式会社	浜岡事業所 静岡県御前崎市	ケミカルズ	粘着剤製造付帯作業 及び物流関連施設	1,400百万円		2019年8月	2021年1月

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,200,000
計	33,200,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,300,000	8,300,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式であり ます。 また、単元株式数は100株であ ります。
計	8,300,000	8,300,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	8,300,000	-	3,361,563	-	3,402,809

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,283,400	82,834	
単元未満株式	普通株式 2,700		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,300,000		
総株主の議決権		82,834	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式24株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 綜研化学株式会社	東京都豊島区 高田三丁目29番5号	13,900		13,900	0.17
計		13,900		13,900	0.17

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,010,851	2,864,875
受取手形及び売掛金	4 9,466,666	4 9,134,824
電子記録債権	505,887	540,611
有価証券	3,500,000	2,500,000
商品及び製品	3,673,515	3,237,458
仕掛品	49,794	88,984
原材料及び貯蔵品	1,035,909	1,134,759
その他	315,408	233,945
貸倒引当金	14,761	11,425
流動資産合計	21,543,270	19,724,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2 14,109,841	2 14,250,637
減価償却累計額	7,824,062	7,961,609
建物及び構築物(純額)	6,285,778	6,289,028
機械装置及び運搬具	2 17,305,051	2 17,390,273
減価償却累計額	13,870,264	14,004,309
機械装置及び運搬具(純額)	3,434,786	3,385,963
土地	2 1,233,158	2 1,238,908
建設仮勘定	750,025	929,674
その他	2 2,438,876	2 2,469,565
減価償却累計額	1,908,447	1,926,258
その他(純額)	530,428	543,306
有形固定資産合計	12,234,177	12,386,881
無形固定資産		
その他	254,673	318,426
無形固定資産合計	254,673	318,426
投資その他の資産		
投資有価証券	1,030,735	959,293
関係会社出資金	159,753	162,236
繰延税金資産	830,346	828,991
その他	558,838	573,242
貸倒引当金	3,120	3,120
投資その他の資産合計	2,576,553	2,520,644
固定資産合計	15,065,404	15,225,952
資産合計	36,608,674	34,949,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,660,764	5,930,943
短期借入金	1,206,811	1,153,679
1年内返済予定の長期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	105,730	51,547
賞与引当金	584,821	243,566
役員賞与引当金	49,000	13,750
完成工事補償引当金	9,300	4,300
工事損失引当金	3,850	4,730
その他	1,903,983	1,652,813
流動負債合計	10,764,262	9,295,330
固定負債		
長期借入金	1,360,000	1,240,000
退職給付に係る負債	1,914,431	1,919,570
その他	19,841	20,023
固定負債合計	3,294,273	3,179,594
負債合計	14,058,535	12,474,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,383,088	3,383,088
利益剰余金	14,819,607	14,616,569
自己株式	11,340	11,340
株主資本合計	21,552,918	21,349,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,584	299,804
為替換算調整勘定	818,985	989,718
退職給付に係る調整累計額	170,349	164,342
その他の包括利益累計額合計	997,219	1,125,181
純資産合計	22,550,138	22,475,062
負債純資産合計	36,608,674	34,949,987

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	7,401,309	6,736,431
売上原価	5,175,664	4,578,284
売上総利益	2,225,644	2,158,147
販売費及び一般管理費	1,647,842	1,765,226
営業利益	577,801	392,921
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,467	13,292
補助金収入	40,430	28,424
雑収入	11,862	18,457
営業外収益合計	64,760	60,173
営業外費用		
支払利息	18,787	16,478
持分法による投資損失	4,185	4
為替差損	50,257	116,981
雑損失	4,700	6,339
営業外費用合計	77,929	139,803
経常利益	564,632	313,291
特別利益		
固定資産売却益	30	-
投資有価証券売却益	-	16,135
特別利益合計	30	16,135
特別損失		
固定資産除売却損	4,402	957
特別損失合計	4,402	957
税金等調整前四半期純利益	560,260	328,469
法人税等	120,749	75,773
四半期純利益	439,510	252,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,510	252,696

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	439,510	252,696
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	28,112	48,779
為替換算調整勘定	203,040	168,064
退職給付に係る調整額	8,040	6,007
持分法適用会社に対する持分相当額	3,151	2,669
その他の包括利益合計	226,265	127,961
四半期包括利益	213,245	380,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,245	380,657

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
会計方針の変更	国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 当座貸越契約及び貸出コミットメントについて

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これら契約に基づく当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
当座貸越極度額及び 貸出コミットメントの総額	2,300,000千円	2,300,000千円
借入実行残高	- 千円	- 千円
差引	2,300,000千円	2,300,000千円

2 固定資産圧縮記帳

国庫補助金等受入により取得価額から直接減額した価額の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
建物	65,489千円	65,371千円
機械装置	284,089千円	283,159千円
土地	33,170千円	33,170千円
その他	8,915千円	8,915千円

3 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
	716,551千円	582,298千円

4 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	140,720千円	119,888千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	332,573千円	314,343千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	580,025	70	2018年3月31日	2018年6月27日

(注) 1株当たり配当額には特別配当10円、記念配当10円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	455,734	55	2019年3月31日	2019年6月26日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,664,904	736,404	7,401,309	-	7,401,309
セグメント間の 内部売上高又は振替高	61	-	61	61	-
計	6,664,966	736,404	7,401,371	61	7,401,309
セグメント利益	529,116	31,118	560,235	17,566	577,801

(注)1. セグメント利益の調整額17,566千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,116,007	620,423	6,736,431	-	6,736,431
セグメント間の 内部売上高又は振替高	78	95	173	173	-
計	6,116,085	620,518	6,736,604	173	6,736,431
セグメント利益	357,663	17,876	375,539	17,381	392,921

(注)1. セグメント利益の調整額17,381千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	53円04銭	30円50銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	439,510	252,696
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	439,510	252,696
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,286	8,286

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月7日

綜研化学株式会社
取締役会 御中

PWCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 昭夫 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 五代 英紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている綜研化学株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、綜研化学株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。